

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4170500328
法人名	株式会社 ジョウジマ
事業所名	グループホームふるさと伊万里
所在地	佐賀県伊万里市南波多町大川原4224-1 (電話) 095-20-3600

評価機関名	社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	平成 20年9月25日	評価確定日	平成 20年11月11日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 1 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	14 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 16.9

(2) 建物概要

建物構造	平屋	木造造り
	1 階建て	1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	60 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 小島病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道202号線沿いから道を少し入り、近隣に保育園・小学校・中学校があり、周りを豊かな田園風景に囲まれた場所にある。近くには神社や野菜の直売所、道の駅、地区の公民館などがあり、地域の方々がホーム横の道路を通り常に触れ合える環境である。施設に入る前の玄関アプローチには、折々の花々が植えら、各居室から見える田畑風景が訪れる人や入居者の方が季節を感じさせてくれる。リビング・廊下などには自然の明かりが差しこみ、落ち着いた空間作りがされている。職員の方も、入居者の方も笑顔が絶えず、やさしく、ゆっくりとした時間が流れていて家庭的な雰囲気がある施設であった。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価において要改善点はなかったが、更にサービスの質の向上にむけて取り組まれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>2ヶ月間に渡り、全職員が外部評価の意義を理解して、各自自己評価に取り組んでいる。その結果をスタッフ会議等で話し合いながらホームとしての自己評価とされている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>年4回運営推進会議を開催されている。市職員、地域の方々からのご意見等をいただかれている。また、地区のコミュニティ会議などにも出席され、地域の福祉委員とも連携をとり、ホームへの理解について働きかけている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の意見、苦情、不安については家族を含めて意見交換を行い、情報の行き違いのないよう電話等で確認を行い、その都度対処され運営やケアに反映されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>職員は、散歩やホーム外での作業中、必ず挨拶をするように心がけている。地域の方々からは、季節の野菜や果物をいただいたり、入居者が一人で外出された際に連絡等をしていただいている。また、地区のお祭りへの参加や、バーベキュー大会を行う際には地区の方々に参加していただいたり、クリスマス会を公民館で行ったりしている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人一人が地域の中で土と水と空気とふれあい、その人らしく生きていただく。」を理念に掲げ、取り組まれている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、申し送り前に上記理念の唱和を行い、日常生活の中で理念の実現に取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りへの参加や、マラソン大会の時沿道に出て応援を行ったりされ地区と交流を深めている。バーベキュー大会時は地元の方に参加していただいたり、クリスマス会を公民館で行ったり交流されることに努められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全スタッフが各自自己評価を行い、外部評価の意義を理解し自己評価に取り組まれ、質の向上に取り組まれている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年4回開催されており、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や市職員の方及び地域の方々からの御意見をいただいている。その意見をスタッフの会議等に報告しサービスの質の向上に取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	2ヶ月に一回、地区で開催されるコミュニティ会議に出席したり、経営者がキャラバンメイトの養成員としての活動を行っている。また、見守りサポーター隊等の研修を受けられておられ、市町村と共にサービスの質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の家族に対して、症状や転倒事故報告などはその都度連絡をされている。また、金銭の預かりに関しては、2ヶ月に一回領収書と共に報告され、3ヶ月に一度お便りを出されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見、不満、苦情に対しては、家族同席での話し合いの場を持たれ、その都度対応されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2年ほど職員の入れ代わりがなく、利用者となじみの関係を崩さないように異動は最小限にとどめるよう努められている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部のスタッフ研修を月1回行い、外部の研修等については情報提供を行いスタッフ各自の希望に沿って積極的に参加するようにしている。また、研修後は伝達研修を行い情報の共有に取り組まれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症介護実践者研修や、その他の研修会に積極的に参加され、他の同業者との交流に取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に至るまでに、家族やケアマネジャーと一緒にホームを見学し、運営理念や家族の困っていることなどを十分に話し合いわかって頂き、1週間の体験入居をして頂く様取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活において、入居者の持っている能力をゆっくりと引き出すよう出来る範囲で、一緒に掃除・洗濯・買い物・調理等を行い、支えあう関係を築くように取り組まれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活は、本人のやる気をいかに起こさせるかを考えられながらも、本人の意思で活動していただけるよう取り組まれている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を担当者とスタッフで話し合い作成され、それに添った介護を行われている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時は、頻回に介護計画を作成し落ち着かれば半年に一回作成されている。また、状況に変化が生じた場合は、その都度介護計画の見直しを行うよう取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	月に1回眼科往診に来ていただいたり、なじみの関係や家族の意見を取り入れながら取り組まれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの主治医に定期的・緊急の場合に受診していただいている(家族に代わってスタッフが代行)。軽い怪我等に関しては地域医療機関にも受診していただけるよう取り組まれている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所のターミナルの指針を作成されており、日頃より重度化されてきた入居者の方に関しては、家族の意向も踏まえてカンファレンスを行い問題を全職員で共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の気持ち、意見を尊重しプライバシーを損ねないように支援されている。個人情報や保管には注意を払われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	睡眠時間、入浴の回数、入浴時間、食事のメニュー、食事時間など本人のペースに合わせて希望に添った支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや配膳・片付け等を入居者と共に行われている。選択メニューの日を設定し一人一人に選んでいただけの工夫をされている。また、ランチョンマットや箸置を使用し食事を楽しめる場になりよう取り組まれている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の希望で毎日でも入浴が出来るように取り組まれている。入浴時間も状況によられるが午後4時～午後8時とされ好まれる時間に入浴していただくよう取り組まれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩、ドライブ、買い物の外出やカラオケをホームで行ったり、生活を楽しんでいただけるよう取り組まれている。また、役割として、出来る家事を毎日行っていたくよう取り組まれている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望や職員の声掛けに応じ、野球観戦やサッカー観戦・散歩・ドライブ等の戸外に出られるよう取り組まれている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の活動を制限することなく、自由に外に出られるように日中は鍵をかけずに対応されている。また、見守りに時間をかけるよう取り組まれている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策時のマニュアルが作成されている。年2回の防火訓練に取り組まれて、公民館を避難場所として解放していただけるよう地域の人々との連携に取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニュー表を作成し、1週間の内容が偏らないように取り組まれている。また、個々の水分チェックを行われ、毎食時・10時・15時・入浴後・就寝前に飲水していただくよう取り組まれている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各季節ごとにリビングの様式替えを行われている。庭にベンチ・テーブル・イスを設置し、くつろいでいただく空間づくりをされている。カーテンや空調に配慮され居心地よく過ごされるよう取り組まれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の入居者のなじみの家具を持ち込み、使っただき、本人が居心地よく過ごされるように工夫されている。		